

KEYAK!

11月号

先月の運動会も年中少さんの遠足も、雨と曇りの狭間でなんとか無事に乗り切ることができました。みなさまのおかげです。ただ、あの時ギリギリまで決断を迫られたおかげで、縮まった私の寿命はどこかで取り戻せるのでしょうか。締め切りに間に合わせるため、まだこの文章を書いている段階では参観保護者会は終わっていないのですが、きっと子どもたちの運動会つづきのプラスな姿や場面を感じていただけたのではないのでしょうか、と推察します。

ダンスや修行やりりレー、遠足などを通して「みんなでする」体験や経験は新しい自分との出会いにも貢献していると思います。それがこれからの仲間意識や他者を思う気持ちだったり、自分自身のチカラを発揮できる場所を見つけることができたりするのがこれから先のクラス意識でありクラスの雰囲気でもあり、先生を含めたクラスの高まりにつながっていくのだと考えます。その意識が高くなるほどに、これから始まっていく「こどもかい」も一人ひとりが自分の力を発揮できたり周りのことが見えてきたり、仲間にかける言葉すら変化していくことでしょう。今学期はそんな経過と経緯を追って保護者の皆様に子どもたちの姿を見てもらえる良い機会であり良い時期になることを願っています。

先日、研究協議会ですぐ近隣の小学校の授業を参観する機会に恵まれました。幼稚園保育園から小学校への円滑な接続をテーマにもう何年も経つのですが、コロナウィルスによる自粛から約3年、久しぶりに見た1年生の授業は、私にはかなり変貌を遂げているように感じました。良い方にです。授業の進め方もそうですが、一番印象的なのはクラスの雰囲気でした。元を考えると、これは子どもたちが作り出すものではなく、きっと先生方が話し合いを重ね子どもたちに寄り添う姿勢と明るい表情が、児童の表情を豊かにし良い空気感を生み出していました。クラスの雰囲気が良いことはそれだけで学習意欲に直結していると言っても過言ではないと思います。皆さんも印象に残っている思い出のクラスってそんな感じじゃありませんでした？私に気付いて目を丸くしたり、先生が背を向けた瞬間に手を振ってくれる1年前とほとんど変わっていないけやきっ子の面々と共に、うれしさ感じる一日であった反面、幼稚園も頑張らなきゃと襟を正した次第です。

* 今月のねらい（育ててほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- それぞれの思いを出し合いながら、友達と一緒にあそぶ
- ごっこ遊びを通して友達とイメージを共有したり、自分なりに表現を楽しんだりする
- 季節の変化に気づいたり、秋の自然物を使って遊ぶ楽しさを味わったりする

4歳

- 友達との遊びを楽しみながら、かかわりを広げていく
- クラス全体でまとまると楽しい遊びや活動を経験し、実感する
- したいことが実現できるように材料や場を選んだり、使い方を工夫したりする

5歳

- 互いにアイデア・イメージを出し合ってクラスで共有していく
- 内容や取り組みなど、クラス集団で意見を出し合って共通理解する
- 全体を見渡して、必要に応じて援助し合うことができる